

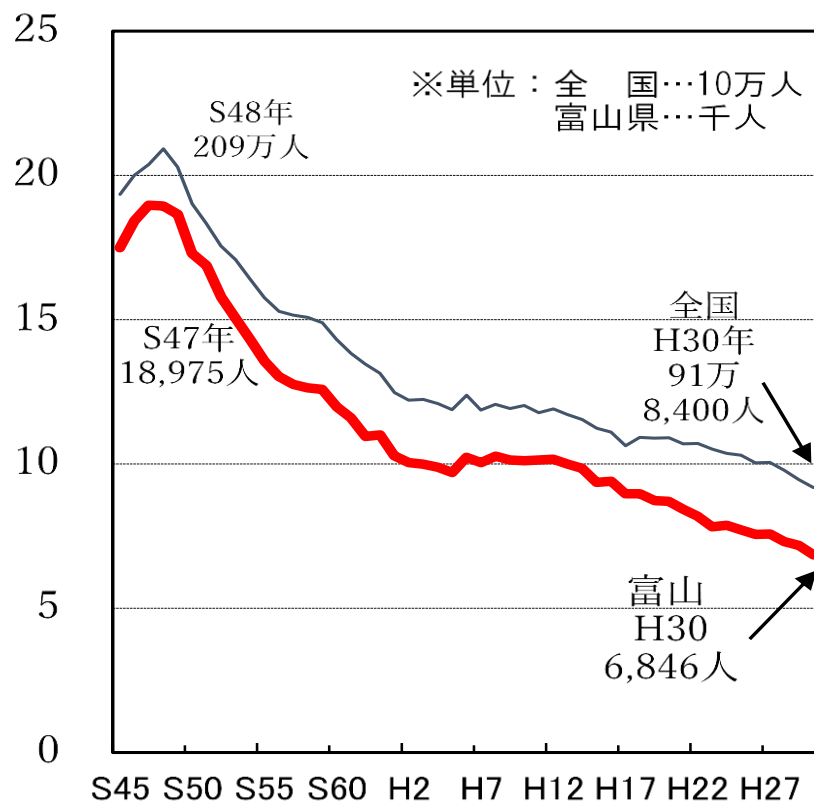
富山県子育て支援・少子化対策に関する基本計画
中間報告（案）の概要

－富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状－

(1) 出生数は年々減少

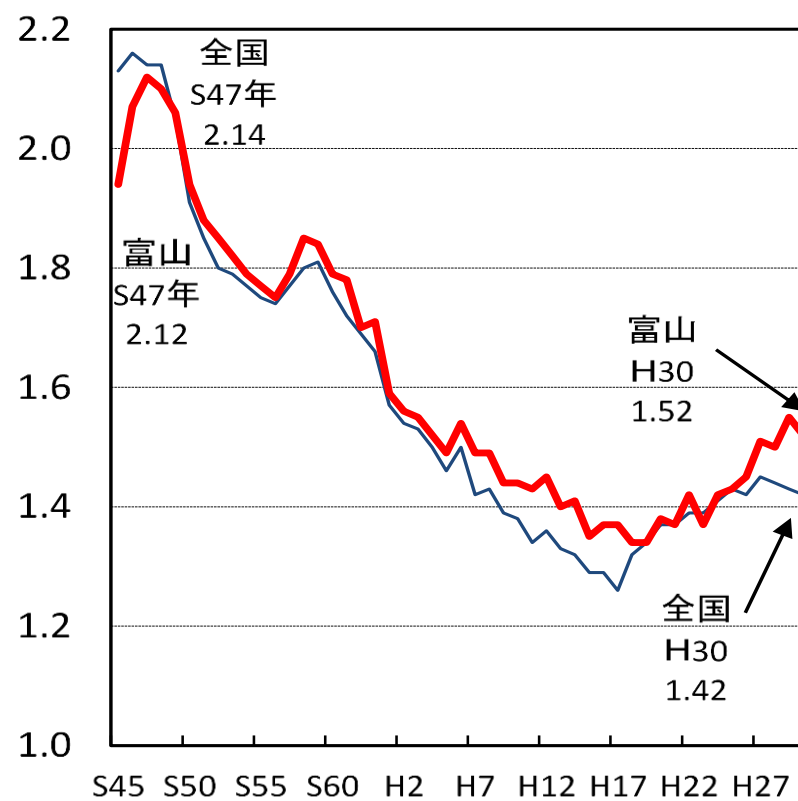
出生数は平成30年には7,000人を割り込み、6,846人となっている。
合計特殊出生率は4年連続1.50台を維持し、1.52となっている。

◎出生数の推移（全国・富山県）



資料：人口動態統計(厚生労働省)

◎合計特殊出生率の推移(全国・富山県)



資料：人口動態統計(厚生労働省)

富山県、年齢(各歳)別、男女別人口(平成30年10月1日現在)

年 齢	男女計	男	女
0-4	36,558	18,814	17,744
0	7,063	3,646	3,417
1	7,250	3,749	3,501
2	7,619	3,907	3,712
3	7,199	3,706	3,493
4	7,427	3,806	3,621
5-9	40,115	20,661	19,454
5	7,678	3,927	3,751
6	7,878	4,039	3,839
7	7,933	4,167	3,766
8	8,190	4,187	4,003
9	8,436	4,341	4,095
10-14	44,705	23,012	21,693
10	8,747	4,447	4,300
11	8,711	4,479	4,232
12	8,809	4,571	4,238
13	8,984	4,679	4,305
14	9,454	4,836	4,618
15-19	49,852	25,595	24,257
15	9,447	4,835	4,612
16	10,066	5,152	4,914
17	10,034	5,149	4,885
18	10,188	5,319	4,869
19	10,117	5,140	4,977
20-24	43,457	23,429	20,028
20	10,260	5,323	4,937
21	9,196	4,843	4,353
22	7,967	4,389	3,578
23	8,239	4,619	3,620
24	7,795	4,255	3,540
25-29	43,147	23,026	20,121
25	8,055	4,359	3,696
26	8,575	4,664	3,911
27	8,496	4,454	4,042
28	8,902	4,726	4,176
29	9,119	4,823	4,296
30-34	49,781	25,906	23,875
30	9,305	4,919	4,386
31	9,627	5,029	4,598
32	9,944	5,150	4,794
33	10,302	5,314	4,988
34	10,603	5,494	5,109

年 齢	男女計	男	女
35-39	57,393	29,618	27,775
35	10,824	5,701	5,123
36	11,102	5,748	5,354
37	11,316	5,802	5,514
38	11,815	6,103	5,712
39	12,336	6,264	6,072
40-44	74,143	38,236	35,907
40	13,205	6,926	6,279
41	13,705	7,002	6,703
42	14,920	7,786	7,134
43	15,758	8,025	7,733
44	16,555	8,497	8,058
45-49	78,773	40,394	38,379
45	16,823	8,633	8,190
46	16,669	8,595	8,074
47	15,737	7,987	7,750
48	14,891	7,611	7,280
49	14,653	7,568	7,085
50-54	64,537	32,194	32,343
50	13,971	6,912	7,059
51	13,931	6,976	6,955
52	10,687	5,355	5,332
53	13,356	6,640	6,716
54	12,592	6,311	6,281
55-59	61,881	30,654	31,227
55	12,795	6,359	6,436
56	11,808	5,918	5,890
57	12,277	6,019	6,258
58	12,453	6,226	6,227
59	12,548	6,132	6,416
60-64	64,249	31,218	33,031
60	12,290	5,956	6,334
61	12,088	5,929	6,159
62	12,690	6,211	6,479
63	13,814	6,628	7,186
64	13,367	6,494	6,873

年 齢	男女計	男	女
65-69	83,170	39,926	43,244
70-74	79,097	37,359	41,738
75-79	62,443	27,789	34,654
80-84	48,828	19,127	29,701
85-89	35,771	11,754	24,017
90-94	17,744	4,540	13,204
95-99	4,824	870	3,954
100-104	688	85	603
105-109	47	1	46
110歳以上	7	0	7
年齢不詳	9,036	5,250	3,786
合計	1,050,246	509,458	540,788

(再掲載)	男女計	男	女
15歳未満	121,378	62,487	58,891
15~64歳	587,213	300,270	286,943
65歳以上	332,619	141,451	191,168

0歳児の男女別人口は男性が209人多く、20代で男性が3千人多くなっている。女性が県外に流出している。

東京圏への転出超過となり、特に女性の転出超過が突出している。

都道府県別県外移動者数（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

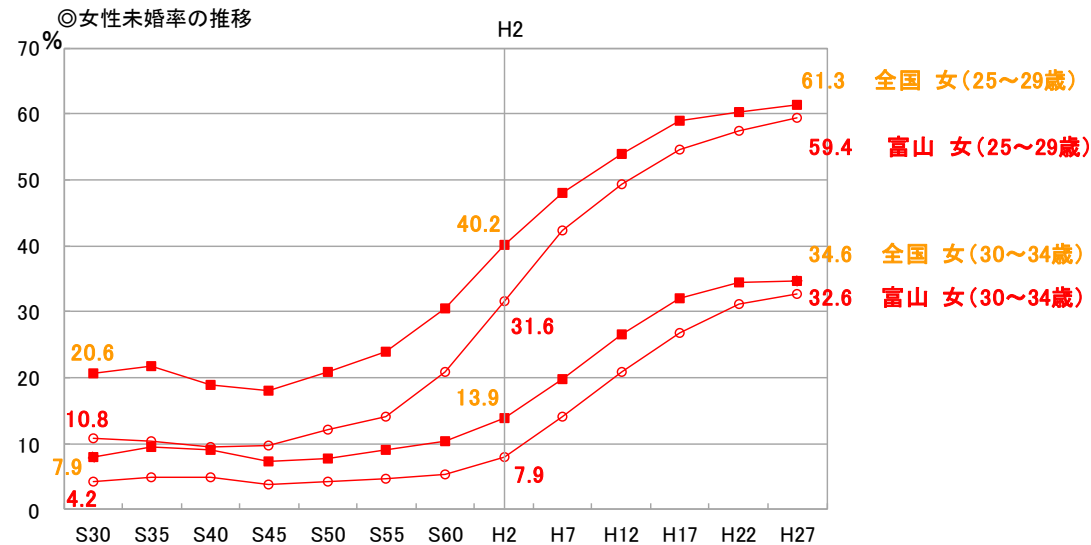
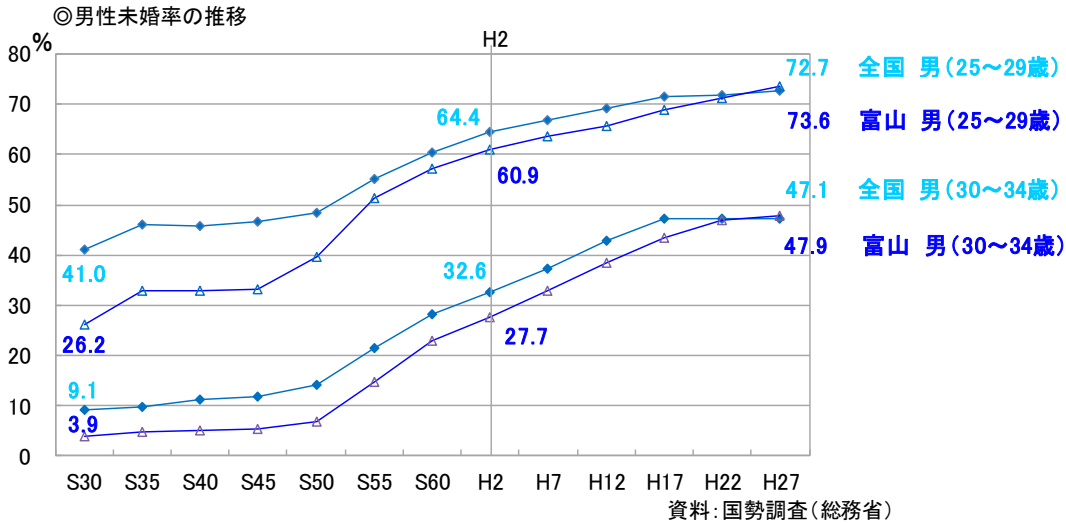
（単位：人）

	転 入			転 出			差 引 増 減					
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
合 計	18,388	10,957	7,431	17,869	10,008	7,861	519	949	△ 430	2.9%	9.5%	-5.5%
北海道	312	177	135	258	156	102	54	21	33	20.9%	13.5%	32.4%
青森県	69	33	36	56	36	20	13	△ 3	16	23.2%	-8.3%	80.0%
岩手県	68	38	30	33	18	15	35	20	15	106.1%	111.1%	100.0%
宮城県	170	112	58	150	83	67	20	29	△ 9	13.3%	34.9%	-13.4%
秋田県	51	35	16	35	24	11	16	11	5	45.7%	45.8%	45.5%
山形県	53	31	22	64	30	34	△ 11	1	△ 12	-17.2%	3.3%	-35.3%
福島県	96	70	26	69	47	22	27	23	4	39.1%	48.9%	18.2%
茨城県	186	107	79	176	111	65	10	△ 4	14	5.7%	-3.6%	21.5%
栃木県	92	60	32	114	70	44	△ 22	△ 10	△ 12	-19.3%	-14.3%	-27.3%
群馬県	171	115	56	173	81	92	△ 2	34	△ 36	-1.2%	42.0%	-39.1%
埼玉県	523	316	207	621	368	253	△ 98	△ 52	△ 46	-15.8%	-14.1%	-18.2%
千葉県	559	338	221	660	375	285	△ 101	△ 37	△ 64	-15.3%	-9.9%	-22.5%
東京都	1,561	901	660	2,254	1,183	1,071	△ 693	△ 282	△ 411	-30.7%	-23.8%	-38.4%
神奈川県	712	428	284	1,001	517	484	△ 289	△ 89	△ 200	-28.9%	-17.2%	-41.3%
新潟県	644	389	255	571	346	225	73	43	30	12.8%	12.4%	13.3%
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	2,162	1,233	929	2,343	1,301	1,042	△ 181	△ 68	△ 113	-7.7%	-5.2%	-10.8%
福井県	514	315	199	464	291	173	50	24	26	10.8%	8.2%	15.0%
山梨県	194	102	92	79	47	32	115	55	60	145.6%	117.0%	187.5%
長野県	361	202	159	369	207	162	△ 8	△ 5	△ 3	-2.2%	-2.4%	-1.9%
岐阜県	352	235	117	432	254	178	△ 80	△ 19	△ 61	-18.5%	-7.5%	-34.3%
静岡県	314	185	129	263	152	111	51	33	18	19.4%	21.7%	16.2%
愛知県	1,142	748	394	1,395	816	579	△ 253	△ 68	△ 185	-18.1%	-8.3%	-32.0%
三重県	226	149	77	195	125	70	31	24	7	15.9%	19.2%	10.0%
滋賀県	190	116	74	229	134	95	△ 39	△ 18	△ 21	-17.0%	-13.4%	-22.1%
京都府	337	213	124	393	224	169	△ 56	△ 11	△ 45	-14.2%	-4.9%	-26.6%
大阪府	849	489	360	887	468	419	△ 38	21	△ 59	-4.3%	4.5%	-14.1%
兵庫県	391	250	141	398	216	182	△ 7	34	△ 41	-1.8%	15.7%	-22.5%
奈良県	81	45	36	82	45	37	△ 1	0	△ 1	-1.2%	0.0%	-2.7%
和歌山県	30	21	9	38	20	18	△ 8	1	△ 9	-21.1%	5.0%	-50.0%
鳥取県	26	16	10	17	10	7	9	6	3	52.9%	60.0%	42.9%
島根県	52	31	21	25	14	11	27	17	10	108.0%	121.4%	90.9%
岡山県	58	35	23	87	47	40	△ 29	△ 12	△ 17	-33.3%	-25.5%	-42.5%
広島県	156	106	50	129	78	51	27	28	△ 1	20.9%	35.9%	-2.0%
山口県	53	32	21	59	33	26	△ 6	△ 1	△ 5	-10.2%	-3.0%	-19.2%
徳島県	32	19	13	27	18	9	5	1	4	18.5%	5.6%	44.4%
香川県	32	22	10	38	25	13	△ 6	△ 3	△ 3	-15.8%	-12.0%	-23.1%
愛媛県	42	29	13	24	12	12	18	17	1	75.0%	141.7%	8.3%
高知県	29	16	13	13	10	3	16	6	10	123.1%	60.0%	333.3%
福岡県	194	113	81	177	101	76	17	12	5	9.6%	11.9%	6.6%
佐賀県	26	15	11	20	12	8	6	3	3	30.0%	25.0%	37.5%
長崎県	46	28	18	27	19	8	19	9	10	70.4%	47.4%	125.0%
熊本県	36	17	19	61	36	25	△ 25	△ 19	△ 6	-41.0%	-52.8%	-24.0%
大分県	27	19	8	33	23	10	△ 6	△ 4	△ 2	-18.2%	-17.4%	-20.0%
宮崎県	32	14	18	19	14	5	13	0	13	68.4%	0.0%	260.0%
鹿児島県	62	35	27	60	33	27	2	2	0	3.3%	6.1%	0.0%
沖縄県	85	47	38	90	54	36	△ 5	△ 7	2	-5.6%	-13.0%	5.6%
国 外	4,639	2,684	1,955	1,835	947	888	2,804	1,737	1,067	152.8%	183.4%	120.2%
そ の 他	351	226	125	1,326	777	549	△ 975	△ 551	△ 424	-73.5%	-70.9%	-77.2%

(2) 未婚化が進行

男女ともに未婚化が進んでおり、特に男性の未婚率は25～29歳、30～34歳ともに全国平均を上回っている。一方で、20代、30代未婚者の83.3%は「将来結婚したい」と回答(R元: 県調査)している。

また、男女の未婚者数には差異があり、男性の未婚者数は、30代で25,269人となり、女性の未婚者を約1万人上回っている。



◎未婚者・有配偶者数(富山県男女)

単位: 人

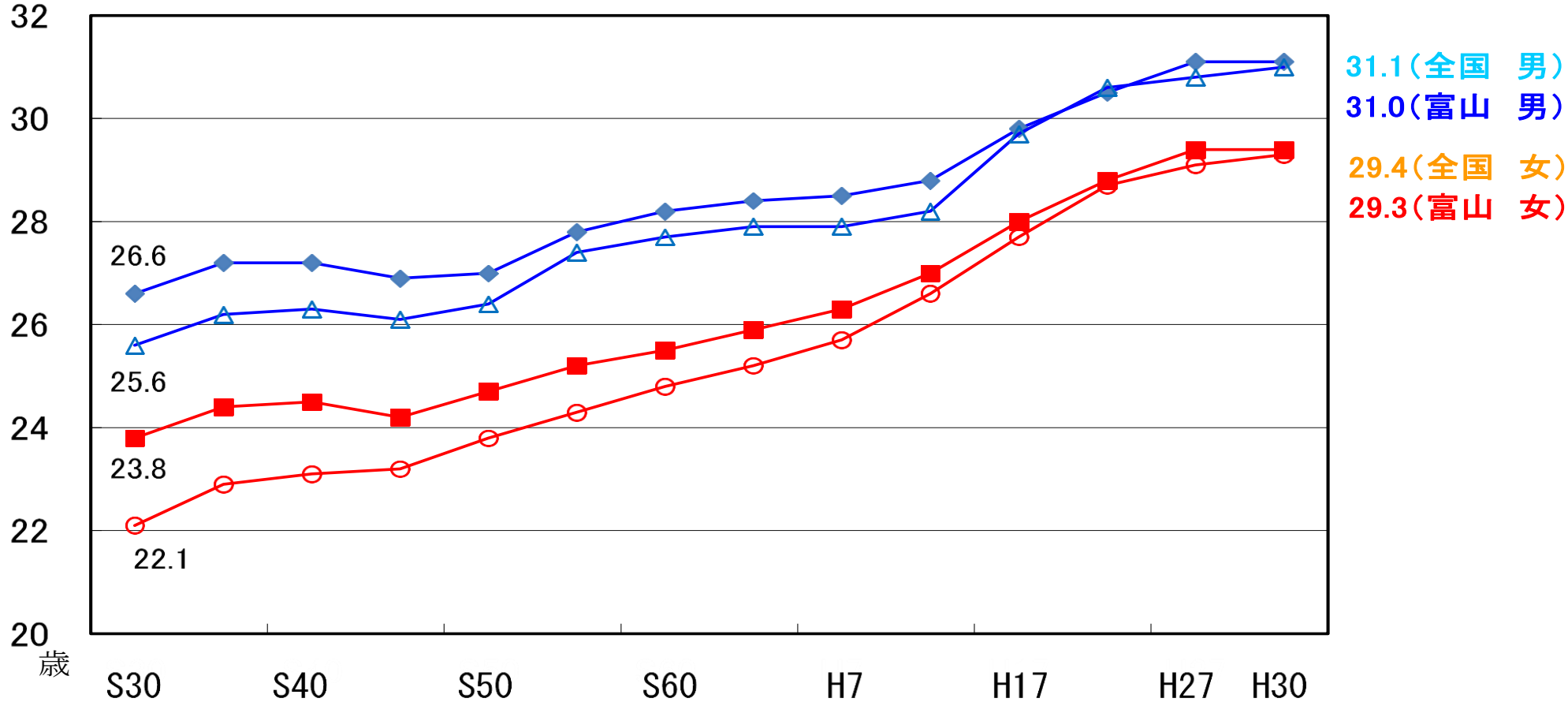
	男		女	
	未婚	有配偶	未婚	有配偶
20歳	4,198	62	3,786	107
25歳	3,980	623	3,158	974
29歳	3,076	1,908	2,166	2,488
20代合計	37,927	7,030	31,217	10,089
30歳	2,812	2,199	1,973	2,781
35歳	2,383	3,424	1,410	3,923
39歳	2,578	4,809	1,324	5,244
30代合計	25,269	34,032	15,282	39,102
40代合計	20,622	50,462	10,599	55,636
合計	147,014	132,586	103,597	154,018

資料: 国勢調査(総務省)H27

(3) 晩婚化が進行

平均初婚年齢は平成30年には男性31.0歳、女性29.3歳と男女ともに年々上昇し、理想の結婚年齢(男性29.1歳、女性27.1歳: R元県調査)と開きがある。

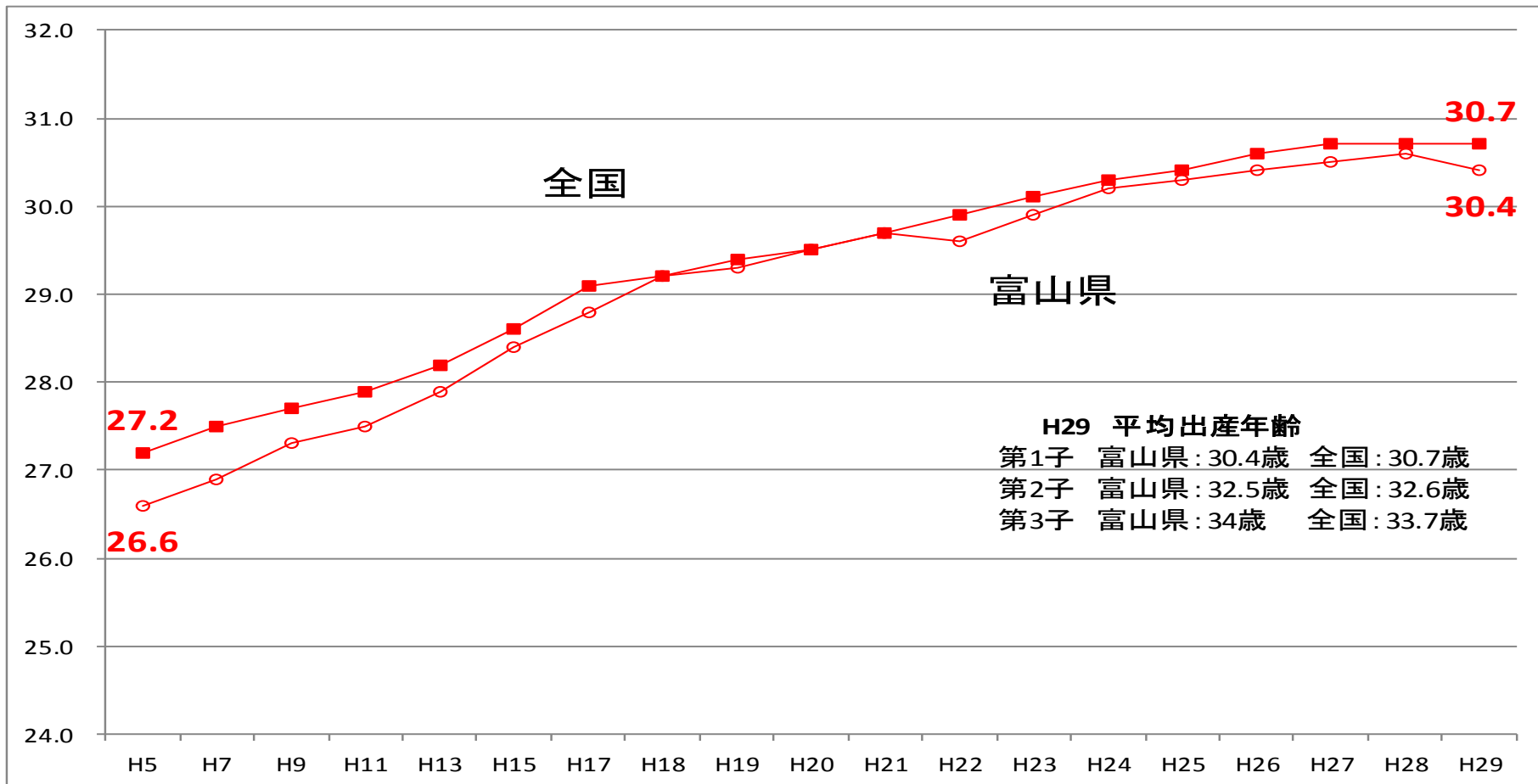
◎平均初婚年齢の推移



(4) 初産年齢が年々上昇

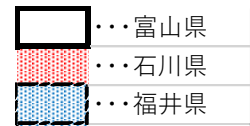
初婚年齢の上昇に伴い、晩産化の傾向が現れている。第1子出産年齢は30.4歳と全国より0.3歳低いが、第3子では全国より、0.3歳高くなっている。

◎平均第1子年齢の推移



資料 人口動態統計(厚生労働省)

	合計特殊出生率 (H29)			合計特殊出生率 (H29)			合計特殊出生率 (H29)			合計特殊出生率 (H29)	
		(順位) (降順)		第1子	(順位) (降順)		第2子	(順位) (降順)		第3子	(順位) (降順)
(合計特殊出生率との相関係数)			(合計特殊出生率との相関係数)		(合計特殊出生率との相関係数)		(合計特殊出生率との相関係数)		(合計特殊出生率との相関係数)		
(単純平均)			(単純平均)		(単純平均)		(単純平均)		(単純平均)		
(標準偏差)			(標準偏差)		(標準偏差)		(標準偏差)		(標準偏差)		
(変動係数)			(変動係数)		(変動係数)		(変動係数)		(変動係数)		
全 国	1.43		全 国	0.66	全 国	0.53	全 国	0.24			
47 沖縄県	1.94	1	23 愛知県	0.73	1	32 島根県	0.64	1	47 沖縄県	0.58	1
45 宮崎県	1.73	2	47 沖縄県	0.73	1	18 福井県	0.63	2	45 宮崎県	0.43	2
32 島根県	1.72	3	16 富山県	0.72	3	47 沖縄県	0.63	2	42 長崎県	0.42	3
42 長崎県	1.70	4	37 香川県	0.72	3	37 香川県	0.62	4	46 鹿児島県	0.41	4
46 鹿児島県	1.69	5	18 福井県	0.70	5	45 宮崎県	0.62	4	32 島根県	0.40	5
43 熊本県	1.67	6	22 静岡県	0.70	5	31 鳥取県	0.60	6	43 熊本県	0.40	5
31 鳥取県	1.66	7	41 鳥取県	0.70	5	42 長崎県	0.60	6	41 佐賀県	0.38	7
37 香川県	1.65	8	44 大分県	0.70	5	43 熊本県	0.60	6	31 鳥取県	0.36	8
41 佐賀県	1.64	9	20 長野県	0.69	9	20 長野県	0.59	9	44 大分県	0.35	9
18 福井県	1.62	10	34 広島県	0.69	9	21 岐阜県	0.59	9	7 福島県	0.33	10
44 大分県	1.62	11	39 高知県	0.69	9	25 滋賀県	0.59	9	35 山口県	0.32	11
7 福島県	1.57	12	46 鹿児島県	0.69	9	41 佐賀県	0.59	9	39 高知県	0.32	11
35 山口県	1.57	12	17 石川県	0.68	13	16 富山県	0.58	13	3 岩手県	0.31	13
20 長野県	1.56	14	24 三重県	0.68	13	23 愛知県	0.58	13	37 香川県	0.31	13
34 広島県	1.56	14	25 滋賀県	0.68	13	30 和歌山県	0.58	13	38 愛媛県	0.31	13
39 高知県	1.56	14	32 島根県	0.68	13	33 岡山県	0.58	13	40 福岡県	0.30	16
16 富山県	1.55	17	36 徳島県	0.68	13	34 広島県	0.58	13	18 福井県	0.29	17
17 石川県	1.54	18	41 佐賀県	0.68	13	35 山口県	0.58	13	30 和歌山県	0.29	17
23 愛知県	1.54	18	42 長崎県	0.68	13	46 鹿児島県	0.58	13	33 岡山県	0.29	17
25 滋賀県	1.54	18	45 宮崎県	0.68	13	7 福島県	0.57	20	34 広島県	0.29	17
33 岡山県	1.54	18	7 福島県	0.67	21	17 石川県	0.57	20	2 青森県	0.28	21
38 愛媛県	1.54	18	8 茨城県	0.67	21	19 山梨県	0.57	20	17 石川県	0.28	21
22 静岡県	1.52	23	19 山梨県	0.67	21	22 静岡県	0.57	20	20 長野県	0.28	21
30 和歌山県	1.52	23	28 兵庫県	0.67	21	38 愛媛県	0.57	20	36 徳島県	0.28	21
21 岐阜県	1.51	25	33 岡山県	0.67	21	44 大分県	0.57	20	6 山形県	0.27	25
36 徳島県	1.51	25	35 山口県	0.67	21	24 三重県	0.56	26	8 茨城県	0.26	26
40 福岡県	1.51	25	40 福岡県	0.67	21	28 兵庫県	0.56	26	10 群馬県	0.26	26
19 山梨県	1.50	28	43 熊本県	0.67	21	6 山形県	0.55	28	16 富山県	0.26	26
24 三重県	1.49	29	9 栃木県	0.66	29	8 茨城県	0.55	28	21 岐阜県	0.26	26
8 茨城県	1.48	30	10 群馬県	0.66	29	9 栃木県	0.55	28	24 三重県	0.26	26
3 岩手県	1.47	31	14 神奈川県	0.66	29	10 群馬県	0.55	28	25 滋賀県	0.26	26
10 群馬県	1.47	31	38 愛媛県	0.66	29	36 徳島県	0.55	28	15 新潟県	0.25	32
28 兵庫県	1.47	31	13 東京都	0.65	33	39 高知県	0.55	28	19 山梨県	0.25	32
6 山形県	1.45	34	21 岐阜県	0.65	33	40 福岡県	0.54	34	22 静岡県	0.25	32
9 栃木県	1.45	34	30 和歌山県	0.65	33	3 岩手県	0.53	35	5 秋田県	0.24	35
2 青森県	1.43	36	11 埼玉県	0.64	36	15 新潟県	0.53	35	9 栃木県	0.24	35
15 新潟県	1.41	37	15 新潟県	0.64	36	2 青森県	0.52	37	28 兵庫県	0.24	35
11 埼玉県	1.36	38	27 大阪府	0.64	36	11 埼玉県	0.52	37	29 奈良県	0.24	35
5 秋田県	1.35	39	2 青森県	0.63	39	29 奈良県	0.51	39	4 宮城県	0.23	39
27 大阪府	1.35	39	3 岩手県	0.63	39	5 秋田県	0.50	40	23 愛知県	0.23	39
12 千葉県	1.34	41	6 山形県	0.63	39	12 千葉県	0.50	40	1 北海道	0.22	41
14 神奈川県	1.34	41	12 千葉県	0.63	39	14 神奈川県	0.50	40	27 大阪府	0.22	41
29 奈良県	1.33	43	5 秋田県	0.61	43	26 京都府	0.49	43	26 京都府	0.21	43
4 宮城県	1.31	44	26 京都府	0.61	43	27 大阪府	0.49	43	11 埼玉県	0.20	44
26 京都府	1.31	44	1 北海道	0.60	45	4 宮城県	0.48	45	12 千葉県	0.20	44
1 北海道	1.29	46	4 宮城県	0.60	45	1 北海道	0.47	46	14 神奈川県	0.18	46
13 東京都	1.21	47	29 奈良県	0.58	47	13 東京都	0.43	47	13 東京都	0.13	47

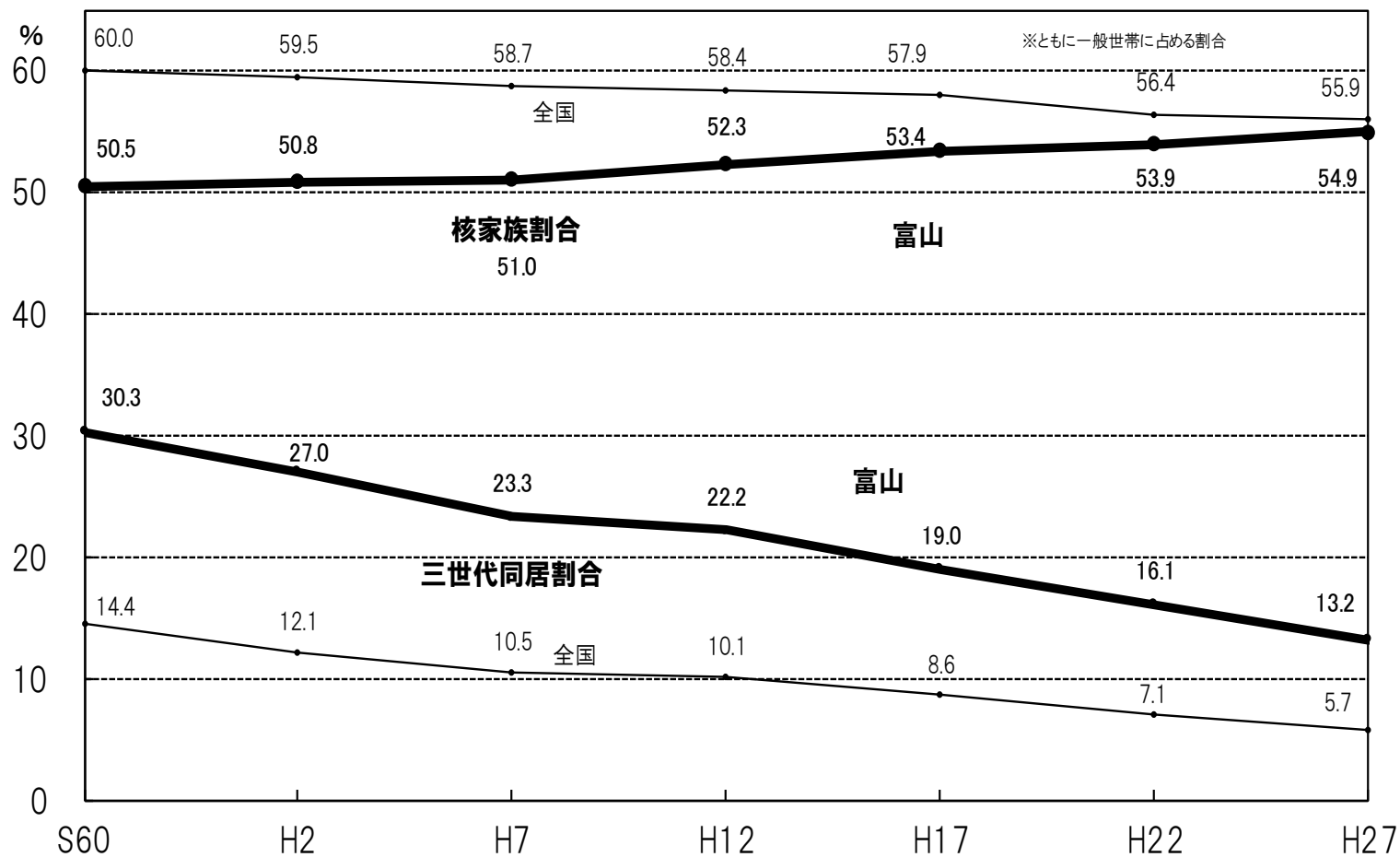


資料:人口動態統計 (厚生労働省)

(5) 核家族化の進行

全国に比べて三世代同居率は13.2%と高いが、核家族世帯の割合が54.9%と年々増加し、全国に近づいている。

◎三世代同居世帯比率及び核家族世帯比率の推移(全国、富山県)

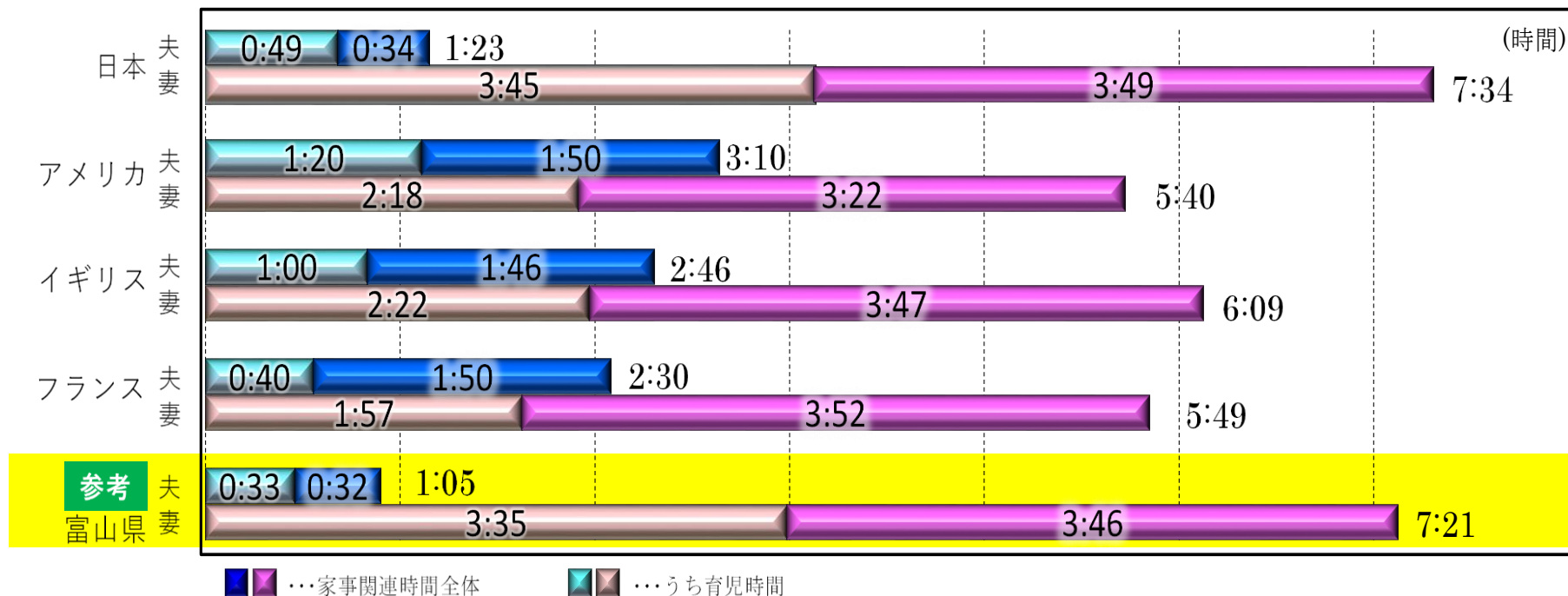


資料:国勢調査(総務省)

(6) 変わらない性別役割分担意識

男性の育児休業取得率は依然として全国より低い。夫の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高い傾向があるが、6歳未満児の子どもを持つ夫婦の家事関連時間では、富山県の夫の家事育児時間は短い。

◎ 6歳未満児のいる夫婦の家事関連時間（1日あたり）の国際比較



出典：内閣府ウェブサイトより
総務省「平成 28 年社会生活基本調査」等

(7) 高い女性の就業率と共働き率

本県の女性の就業率は高く、子どものいる世帯の共働き率も高くなっている。一方でフルタイム勤務の女性の約半数が、第一子出産を機に離職若しくはパート・アルバイト勤務等になっている。

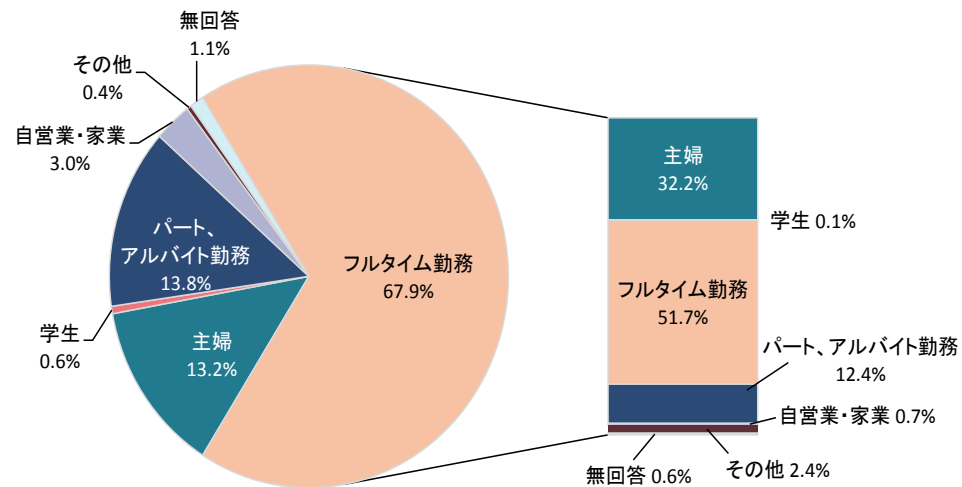
	夫が就業している妻の就業者数 (A)	夫が就業している妻の非就業者数 (B)	夫が就業している妻の就業者数 (C)	夫が就業している妻の非就業者数 (D)	共働き率 (A) / (A) + (B) + (C) + (D)
夫婦のいる一般世帯(世帯数)	134,247	45,959	11,817	48,219	55.9%
子供なし	37,291	17,335	6,174	31,404	40.4%
子供あり	96,956	28,624	5,643	16,815	65.5%
最年少の子供が0歳	3,154	3,346	23	54	48.0%
最年少の子供が1歳	4,105	2,321	25	30	63.3%
最年少の子供が2歳	4,126	1,615	33	22	71.2%
3~5歳の子供 (3歳~未就学児の子育て世帯)	10,808	2,393	452	252	77.7%
6~11歳の子供 (小学生の子育て世帯)	19,824	3,533	452	252	82.4%
12~14歳の子供 (中学生の子育て世帯)	10,147	1,489	452	252	82.2%

資料: 国勢調査(総務省)H27

◎女性の就業継続の状況

【第一子出産1年前の就業状況】

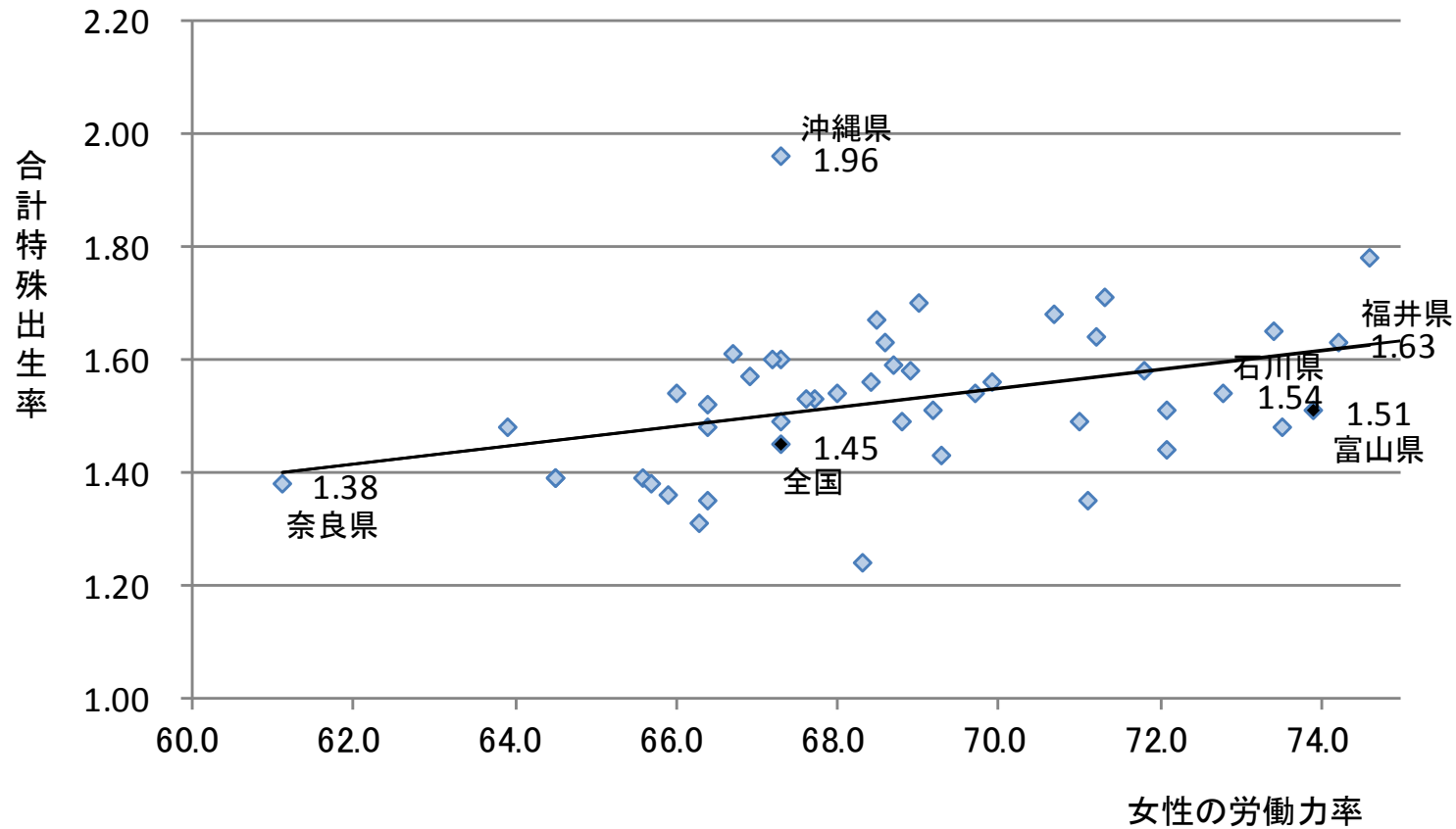
【フルタイム勤務者の出産1年後の就業状況】



N=1,058 出典: 富山県「子育て支援サービスに関する調査報告書(2017年)」

女性の労働力率と合計特殊出生率には正の相関関係がある。

◎女性の労働力率と合計特殊出生率の関係(H27)



資料「国勢調査」(総務省)、「人口動態統計」(厚労省)

本県が直面する課題

- ① 未婚率が全国並みに上昇し、理想の結婚年齢と初婚年齢にも開きがあるため、出会いの場の創出やコミュニケーション力のアップなど、結婚を希望する男女への支援が必要
- ② 大学等への進学による若者の県外流出後、女性のUターンが低調なため、県内の20代～40代の男女比のアンバランスが生じており、若い女性を中心としたUIターンの促進が必要
- ③ 晩婚化による初産年齢の上昇により、第1子出産後、第2子、第3子を躊躇する傾向が見られ、その要因の排除が必要
- ④ 核家族割合が全国並みになってきており、母親が孤立しがちな辛い時期(特に第1子の0歳児期)の手厚いサポートが必要
(産後うつ対策や児童虐待等の未然防止の観点からも重要)

⑤ 子育て世代の共働き率は極めて高いが、家事育児に関する性別役割分担意識が依然として強く残り、女性の負担感が大きいことから、女性の家事・育児の負担軽減のほか、職場における働き方改革により、長時間労働の是正や多様な働き方を推進するとともに、男性の家事・育児参画を進める必要がある。

⑥ 高い共働き率の一方で、出産を機に一旦離職する率も高く、女性の労働力率と合計特殊出生率には正の相関関係があることから、女性活躍の推進が必要

⑦ 祖父母の協力を得られる三世帯同居が減少しており、子育てと仕事の両立がしやすい職場環境づくり、放課後児童クラブや特別保育などの充実、社会全体での子育てサポートが必要

富山県子育て支援・少子化対策に関する基本計画の骨子案

期間 R2年度～6年度（5年間）

めざす社会 子どもの笑顔と元気な声があふれる活気のある地域社会

3つの
基本目標

県民の結婚・出産・子育ての希望がかない、安心して子どもを
生み育てられる環境

仕事と家庭生活との両立が実
現できる環境

子どもが心身ともに健やかに成
長し、自立できる環境

6つの基本方針

基本方針Ⅰ 家庭・地域における子育て支援

- 1 子育て家庭に対する支援
- 2 地域における子育て支援の促進
- 3 安心して子育てできる生活環境整備
- 4 母と子の健康づくりへの支援

基本方針Ⅲ 子どもの健やかな成長の支援

- 1 子どもの権利と利益の尊重
- 2 子どもの健全な育成
- 3 生命を尊び家族を形成する心を育む環境づくりの推進
- 4 子どもの生きる力を育成する教育の推進

基本方針Ⅱ 仕事と子育てとの両立支援

- 新
- 1 働き方改革の推進
 - 2 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備
- 新
- 3 男性の家事・育児参画の促進
 - 4 就業支援

基本方針Ⅳ 次世代を担う若者への支援

- 1 結婚を希望する若者への支援
 - 2 ライフプラン教育の推進
 - 3 若者の就業支援
- 新
- 4 U I Jターン・移住・定住の促進

基本方針Ⅴ 経済的負担の軽減

基本方針Ⅵ 子育て支援の気運の醸成

重点施策と施策の方向性

(1) 子育て家庭に対する支援の充実

- ・質の高い教育・保育の一体的提供の促進
- ・病児・病後児保育など多様な保育サービスや放課後児童クラブ等の充実
- ・妊娠期から子育て期の切れ目ない支援の充実(産後ケアの充実、産後うつ対策)
特に第1子の0歳児期のサポートの充実

(2) 働き方改革・女性活躍の推進

- ・生産性向上による長時間労働の是正と柔軟で多様な働き方の推進
- ・企業における女性活躍の推進
- ・共働きの質の向上

(3) 男性の家事・育児参画の促進

- ・男性の家事・育児参画を積極的に促進
- ・男性の働き方の見直し
- ・男性の家事・育児参画及び育児休業取得の促進(全国トップレベルを目指す)

(4) 結婚を希望する男女への支援

- ・積極的な結婚支援策の展開
- ・出会いの場の創出やコミュニケーション力のアップなどへの支援
- ・企業や市町村との連携強化



(5) UIターン・移住・定住の促進

- ・UIターンの促進
- ・魅力的な企業の誘致の促進
- ・若い世代の移住・定住を促進・支援

(6) 子育て家庭や子どもを望む家庭への経済的負担の軽減

- ・経済的支援の継続
出産・保育・医療等にかかる経費の助成、就学にかかる経費の助成、住宅にかかる経費の助成
子育て応援券、「とやまっ子すくすく電気」等

(7) 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会づくり

- ・結婚、妊娠、子ども・子育てを社会全体で応援する気運の醸成
シニア世代の家事・育児への参画を促進、民間サービス(家事代行、ベビーシッター)等の活用促進、男性トイレ等のベビーチェア・おむつ交換台等の設置促進 等
- ・子育て支援に対する情報提供の充実
- ・セーフティネットの充実
児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応 子どもの貧困対策
いじめ、不登校、ひきこもりの子どもに対する支援の整備・充実 等

<施策体系>

基本方針	基本的施策	施策の基本方向
I 家庭・地域における子育て支援	1 子育て家庭に対する支援	(1) 幼児教育・保育・子育て支援の充実
		(2) 情報提供・専門的な相談の実施
		(3) ひとり親家庭などに対する支援
	2 地域における子育て支援の促進	(1) 子育てを支援する人材の育成
		(2) 子育て支援活動の促進
		(3) 子育て支援のネットワークづくり
	3 安心して子育てができる生活環境の整備	(1) 子育てにやさしいまちづくり
		(2) 子どもの交通安全対策の推進
		(3) 子どもを犯罪から守るための活動の推進
		(4) 良質な住環境の確保
	4 母と子の健康づくりへの支援	(1) 安全で安心な妊娠・出産の支援
		新(2) 不妊治療等への理解促進・支援の充実
		(3) 周産期医療等の充実
		(4) 子どもの健やかな成長のための支援
		(5) 障害や疾病のある子どもへの支援
	II 仕事と子育ての両立支援	新1 働き方改革の推進
(2) 企業等における女性活躍の推進		
2 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備		(1) 一般事業主行動計画の策定及び実効ある取組みの支援
		(2) 両立支援制度などの定着促進
		(3) 両立支援に取り組む企業への支援
新3 男性の家事・育児参画の促進		新(1) 男性の家事・育児参画の推進
4 就業支援		(1) ライフステージに応じたキャリア支援や再就職等の促進
		(2) ひとり親家庭などへの自立支援の推進

Ⅲ 子どもの健やかな成長の支援	1 子どもの権利と利益の尊重	(1) 子どもの権利と利益に関する広報・啓発
		新(2) 児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応
		(3) 子どもの社会的養育の推進
		新(4) いじめ、不登校、ひきこもり等への対応
		新(5) 子どもの貧困対策
	2 子どもの健全な育成	(1) 子どもの多様な体験・交流活動の促進
		(2) 子どもの放課後の居場所づくりの推進
		(3) 食育と子どもの基本的な生活習慣づくりの推進
		(4) 健全な育成環境の整備と思春期対策の充実
	3 生命を尊び家族を形成する心を育む環境づくりの推進	(1) 生命の尊さ等について学ぶ機会の充実
		(2) 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し
	4 子どもの生きる力を育成する教育の推進	(1) 家庭の教育力の向上と幼児教育との連携
		(2) 個性と創造性を伸ばす教育の充実
		新(3) 配慮を要する子どもへの教育の推進 (障害者・外国人)
		(4) 豊かな心を育む教育の推進
		(5) 児童生徒と心の体の健康づくり
Ⅳ 次世代を担う若者への支援	1 結婚を希望する若者への支援	(1) 結婚を希望する独身男女の応援
	2 ライフプラン教育の推進	(1) 自らのライフプランを考える機会の提供
		新(2) 人生100年時代を見据えた若者のライフプラン教育の推進
	3 若者の就業支援	(1) 若者への就業支援の充実
	新4 U I J ターン・移住・定住の促進	(1) 若者や女性の定着促進
新(2) 移住・定住の促進		
Ⅴ 経済的負担の軽減	1 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減	(1) 県の特性に応じた施策等の推進
Ⅵ 子育て等支援の気運の醸成	1 <u>子育て等に温かい社会づくり</u>	(1) 社会全体で子どもや子育てを支援する気運の醸成
		(2) 子育て支援に関する情報提供の充実

